

***** メリークリスマス 2016 *****

皆さんへ、

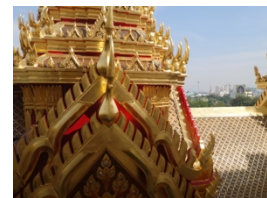
昨年はこのお手紙をさぼってしまい、申しわけありませんでした。カード、年賀状を頂戴した方達には返信できていなかったもので、お詫び申し上げます。2015年に申し訳ないので、今回は二年分カバーします。そして、メールでつながっている方たちには添付で送ります。

<由紀子の2015年と2016年>

私の2年間は、仕事、仕事でした。記憶に残っているのは、仕事が忙しかったという思いです。

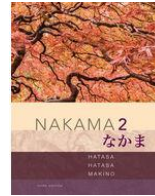
2015年の初めはまだ講座主任(Department chair)でしたから、大量にやってくる流れ作業をこなす毎日でした。でも、4月から研究休暇をもらいましたので、音声評価の共同研究を友人達と始めました。音声については知識が足りない、統計の知識も不十分で、日々勉強、共同研究者の友人たちにいろいろ教えてもらうばかりですが、2年ぶりに研究活動ができることに喜びも感じました。5月には、かねてから行きたいとおもっていたバリに行き、お寺巡りをしました。(一味はもちろんだイビング)

広大の場合、サバティカル中も論文指導をしなければなりません、院生が多かったので、10月以降2016年の2月まではほとんどの時間を院生指導に使うことになりました。でも、12月の中旬にタイに行きイリノイ大学院時代の同窓生のパピネに会うことができました。パピネはタイの有名大学であるチュラロンコン大学の先生になっていて、実は彼女もこの卒業生でした。広大はチュラロンコンと交流協定があるので、一度お邪魔したことがあります、バンコクの中心地に広大な敷地を持つとても美しい大学です。大学自体観光地とも言えます。タイでは、バンコク、アユタヤのお寺参りをしたほか、プーケットにも足を延ばして、カズはダイビング、私はまったりしていました。正月は下呂温泉に行きました。こちらもお湯がとても良く、飛騨牛もおいしかったです、やっぱり正月は旅費が高かった！



今年の4月以降は、本年度から始まった4学期制の授業をこなすのに、日々格闘しています。この4学期制というのは2か月で1学期、1回の授業を180分でやるというもので、アメリカの基準からするとたぶん ridiculous か out of mind といえるんじゃないかと思います。また、今年は学会発表や執筆活動がいつもより忙しい一年となり、出張も増えて、12万マイルちょっと飛びました。アメリカでは、ジョージタウン、ポートランド、オーランド、ミドルベリー、インディアナ、ニューヨーク、その他は、パレルモ(イタリア)、ベニス、クアラルンプールに行きました。マレーシアは、大学の国際室の仕事で初めていきましたが、日本語や日本語教育という世界を超えた ASEAN の様々な大学との交流は、ASEANにおける日本語教育を知る意味でも、また ASEAN の大学間の状況を知る意味でも非常に興味深かったです。6月にパデュー大学時代の同僚のベッキーが広島まで来てくれ、原爆の跡地を歩いて回りました。彼女は、日本語が話せないにもかかわらず、ものすごく独立心がおおせいで、すごくたくましく思えます。私は言葉の通じない国に旅行に行くとき、彼女ほどプロアクティブになれないので、とてもうらやましいです。

アメリカでのハイライトはアイオワ大学時代のジュディとスーがインディアナに会いに来てくれたことです。ジュディは昨年退官しましたが、アイオワ大学のプログラムを救うため、臨時に大学に戻っていました。いかにも彼女らしく、人としても、先輩としても本当に尊敬します。スーは、Language Media Center のディレクターであったことから、一般教員の私たちよりも拘束時間が長かったため、退官して初めて、早朝に学校に行かずに、コーヒーを飲んで読書をしたりと、自分のことができるということの喜びを感じていると言っていました。そういう日々の喜びを感じられること、そして、新たな友人関係、これからの人生を楽しもうというバイタリティや若々しさが、その当時ちょっとメンタルに疲れていた私にはいい刺激になりました。そんな気持ちをずっと私も持ち続けていたいと改めて思います。



今日本では、派手なクリスマス映画をよそに、「この世界の片隅に」というアニメが流行しつつあります。このアニメは第二次世界大戦を生き抜いた広島在住の少女の話ですが、普通の人たちの普通の生活が自分たちに全く非がないことで壊されていく様、それでも生きていく様相が静かに描かれています。そんな時代がそんなに遠くない昔にあったことを考えると、仕事が忙しい程度のことでも泣き言を言っていた自分はいかんなあと改めて反省しました。ですから、今は朝起きたら、まず頑張ろうと叫んで、気合を入れています。ただ、体力も頭の回転も落ちているので、若い時ほど頑張りがきかず、日々、ガンバローでリセットしている感じです。来年はちゃんとペースを考えて、頑張ろうと思っています。

<一味の 2015 年と 2016 年>

2015 年は 2 月にさん喬師匠と喬之助さんがボストンとミドルベリーで公演をしました。私もサポートに入ったのですが、ボストンが歴史的な大雪で、すごい風景でした。4 月には二楽さんがアラム大とパデューに来て、紙切り独演会二楽劇場 in America を行いました。こちらも盛況でした。



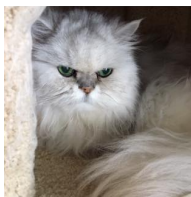
五月は例年通り東京に戻り、旧友たちと会って、飲み食い、ゴルフを楽しみました。夏のミドルベリーをなんとか乗り越え、10 月にはオレゴン大で講演をするためにユージーンを訪れました。1979 年にアメリカ生活を始めた懐かしい場所です。昔のアパートも残っていて、しばしのタイムトリップを楽しみました。ポートランドではその頃のホストファミリーに会うこともできて、楽しい一時を過ごしました。



2016年の3月に教え子に呼ばれてワシントン&リー大学で講演をしました。5月に東京に戻った時には教育アプリの制作会社の社長さんと会う機会があり、Kana Bimoji というひらがなやカタカナを手書き入力して、その形のきれいさを判定してくれるアプリの話をしました。ビジネスの人の動きの速さに感心しました。6月には数年ぶりに陸前高田を訪れることができました。懇意にしている菅野家もいよいよ新居の場所が決まり、一年以内には仮設住宅から引っ越せる目処が立ったというお話でした。新居でいっぱい飲むのが私達の約束でしたので、やっとそれが実現しそうです。また、パデュエの同僚のベッキーが初めて東京に来て、築地や浅草など下町を案内しました。彼女は食文化に興味があるのでたくさん食べました。今年のみドルベリーもいい学生と先生に恵まれて、とてもいいセッションでした。落語チームに林家正蔵師匠が加わってくださり、緊張するとともに、新鮮でした。11月には、昨年からの編集作業が続いていた教科書「なかま2 第三版」が完成し、出版されました。これで、この教科書も落ち着いたという実感があります。



今年のクリスマスは二人でセブ島に行ってきます。ダイビング三昧、楽しみにしています
皆さんのご健康、ご多幸をお祈りします。よいお年をお迎えください。



ミータロー：親方がいない間はシカゴのメグ姉さんに世話になりました。年は重ねていますが、まだ薬も必要なく、元気です。そろそろ尻尾が二つに別れるかも。

チビタン：アタシは快調です。でも、みドルベリーでたくさんの学生さんと会うのは、歳のせいかな、ちょっとしんどくなってきたかも。

チビタン&ミータロー



頌春 2017
